

言語文化学科	教授	松岡 格	大学院の授業担当 無
教育活動			
教育実践上の主な業績	年月日	概要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)			
1 外国語科目(中国語Ⅰなど)	2013年4月～現在	発音指導に力を入れている。授業中には、生徒一人一人が発音する機会を多く設け、かつ概ね二回に一回のペースで小テストを行っている。	
2 講義科目(中国研究概論など)	2013年4月～現在	現代中国について理解するために必要となる基礎知識を得てもらうことを主目的に授業を進めている。双方向性を重視し、授業中に履修者からの発言を求めている。	
3 演習科目(基礎演習など)	2013年4月～現在	最終目標である卒論執筆に向けて、学年毎に必要なことを取捨選択して、授業を進めている。一年生については要約・引用、二年生について論文読解・紹介、三年生については研究報告の方法習得を重視している。	
2 作成した教科書、教材、参考書			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等			
4 その他教育活動上特記すべき事項			
学会等および社会における主な活動(学外の委員、役職等)			
年月日	活動内容		
2006年11月～現在	日本文化人類学会 会員		
2007年4月～現在	日本アジア政経学会 会員		
2008年12月～現在	日本台湾学会 会員、理事会幹事、書記(2011年7月～現在)		
2010年9月～現在	東方学会 会員		
2011年7月～現在	中国社会文化学会 会員		
その他			
科学研究費助成事業: 基盤研究B「台湾原住民族の民族分類と再編に関する人類学的研究:学術、制度、当事者の相互作用」分担研究者(2011年度～現在) 若手研究B「台湾原住民族社会可視化の影響の複雑性の解明:戸籍、地図、その記載情報の研究」研究代表者(2013年度より)			
受賞歴: 日本台湾学会学会賞(第7回・2013年)			